

科目名		授業形態	担当教員名	
老年期障害治療学Ⅰ		講義	小田 佳子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
高齢化に伴い、疾患や障害像が多様化しており、作業療法のニーズが高まっている。ここでは、一般的高齢者の特徴を学んだ後、近年急激に増加している認知症について医学的知識を深め、作業療法士の役割を学ぶ。また特に実践現場で多い廃用性症候群や排泄障害についての医学的知識を学んだ上で作業療法士の役割を学ぶ。				
授業の到達目標				
1. 老年期の一般的特徴を説明できる。 2. 認知症の症状や特徴について説明できる。 3. 認知症の方への対応について説明できる。 4. 廃用性症候群について説明ができる		5. 廃用性症候群への対応について説明ができる 6. 排泄障害について説明できる。 7. 排泄障害への対応について説明ができる。		
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション 老年期作業療法の役割 枠組みと対象 課題説明			
2	老年期作業療法の制度的位置づけ			
3	老年期の特徴①			
4	老年期の特徴②			
5	老年期の特徴③			
6	老年期の特徴④			
7	老年期に多い疾患 認知症			
8	老年期に多い疾患 認知症			
9	老年期に多い疾患 認知症			
10	老年期に多い疾患 認知症			
11	老年期に多い疾患 廃用性症候群			
12	老年期に多い疾患 廃用性症候群			
13	排泄障害と作業療法			
14	排泄障害と作業療法			
15	高齢者の評価 ICF			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	70%	上記授業内容に応じた試験により評価を行う		
レポート	20%	排泄障害・認知症のレポートで評価する		
小テスト				
平常点				
その他	10%	グループ発表・授業参加態度で評価する。		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
老年期の作業療法 改訂第3版		浅海奈津美・守口恭子	三輪書店	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
標準理学療法学・作業療法学 老年学 第5版		大内尉義	医学書院	
標準理学療法学・作業療法学 神経内科学 第5版		川平和美	医学書院	
自由記載				
備考				
授業の予定は、前後変更する可能性がある。変更の場合は随時通知する。				